

大会宣言

70年前、日教組は、戦火で校舎が焼け「青空教室」などで授業した各地の教職員による戦前教育への猛省と民主教育創造への決意、さらには、窮迫する生活苦からの処遇改善要求をもとに組織されました。不戦の決意を示した「教え子を再び戦場に送るな」を日教組運動の原点とし、子どもや教育現場の実態、組合員の声を運動の中心に据え、平和・人権・環境・共生を尊重する民主的な社会づくりをすすめてきました。

今、日本は大きな岐路に立っています。

特定秘密保護法、安保関連法、「共謀罪」法の強行成立に続き、安倍首相は「2020年を新しい憲法が施行される年にしたい」とし憲法改悪を目論んでいます。戦後日本の歩みを支えてきた平和憲法は蔑ろにされ、私たちの命と生活が危機に晒されています。この国が再び戦争へとむかうことが決してないよう、憲法の平和主義を堅持し、立憲主義と民主主義を実現させるため、より広範な連携のもと運動をすすめていきます。

いじめ、不登校、自死など、子どもたちをとりまく課題は深刻化しています。政府のすすめる教育政策は市場原理・国家主義にもとづくものであり、子ども・学校現場の抱える課題に十分にむきあっていません。次期学習指導要領は、教育内容が精選されず、「資質・能力」の強調などにより、子どもを学びからいっそう逃避させることが危惧されます。ゆたかな学びの保障にむけ、子どもたちの実態にもとづき地域にねざしたカリキュラムづくりをすすめていきます。

教職員の心身の疲労は限界に達し、「生活時間の貧困」が深刻化しています。長時間労働の是正とワーク・ライフ・バランスの実現にむけ日教組は、「給特法の見直し」「業務削減」「教職員定数の改善」という「教職員の働き方改革3本の柱」を実現させるべく「長時間労働是正キャンペーン」に組織の総力をあげとりくみます。

私たちは、日本国憲法施行・日教組結成70年の節目の年に第106回定期大会を開催し、組織の統一と団結を固め、職場を原点にした組織拡大・強化と、青年層への運動の継承をすすめることを確認しました。本大会で決定された方針のもと、平和憲法とともに歩んできた日教組の歴史と運動に自信と誇りを持ち、すべての子どもたちに平和で民主的な社会を引き継ぐため、未来につなげる日教組運動をすすめていきます。

以上、宣言します。

2017年7月16日
日本教職員組合 第106回定期大会